

平成 29 年度 非核都市宣言平和事業実行委員会  
第 5 回議事録（要旨）

日 時：9 月 14 日（木）午後 6：15～

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 10 名（深田委員、吉田委員、植村委員、牛田委員、中里委員、  
柴田委員、田村委員、中島委員、北山委員、小餅委員）

事務局 2 名

1 開会

2 議題

（1）夏季平和事業を振り返って【資料 1、資料 2】

・事務局より、アンケートの結果を報告。

【事務局】「市内に住んでいても、このような惨劇があったことを知らなかった」「こういうイベントを引き続きやって欲しい」「パネルを常設してほしい」などのご意見が寄せられた。パネル展については、「説明をしていただき、興味深かった」などの意見があった。ご協力ありがとうございました。

【委員】戦争を知らない人が感じたことはあるのだろうかと感じた。

【委員】桜キッズに参加してもらい、すごく良かった。人を呼ぶことは大変だと感じた。もう少し集められるよう働きかけたらよかったと思う。一方で、最初は拒んでいた子どもが最後まで参加してくれたのは、何か感じてくれたからではないかと思う。

【委員】来場者の様子や感想から、事業の意義を痛感できた。パネル展をゆっくり拝見し、新たに知識を得ることができた。夜は、若い方が長い時間をかけてパネル展を見ていて、お昼に子連れや短時間で見る方とは違う層を見ることができ、嬉しく思う。

【委員】若い方が熱心にみているのは大変嬉しく思う。これから将来の日本を支える若い人にしっかり見てもらいたい、戦争をしてほしくないということを痛感した。学生に説明をしてほしいと言われ、「本当にこうだったのですか」と聞かれたので「本当はこれよりひどいのよ」と答えた。自分の説明でどこまで伝わったかはわからないが、若い人が来てくれたのはよかった。

【委員】一般向けの映画もたくさんの方がきてくれた。

【委員】日本がアメリカと戦争をした過去をちゃんと教えてほしい。大きな犠牲を払い、現在があるということを子どもたちに教えてほしい。

【委員】パネル展を見た子どもたちの感想を見ていると、何か感じているように思う。

【委員】たとえ大人が知らなくても、子どもが知って欲しい。

（2）「平和の日」関連イベントについて【資料 3】

・事務局より、平和の集い、平和の日イベントの実施案について説明。

【事務局】昨年はコピスでパネル展を行ったが、今年はアトレで展示をする。

【委員】平和の集いは、10:30～11:00 だと時間が短く、バルーンリリースすると人が散ってしまうのではないか。

【事務局】準備等の都合上、調整は厳しい。

【委員】アトレの取り組みは、市と共催なのか。

【事務局】アトレさんも以前から考えはあったようだが、きっかけがなかった。24日が武蔵野市平和の日ということを出していきたい。夏のパネル展同様、長く見られるような場所だと思う。相乗効果になればいいとおっしゃっている。

【委員】11月23日のイベントを運営していくのに、どのくらいの人数が必要なのか。

【事務局】職員となるべく多くの実行委員会の方で運営していく。午後のイベントでは、誘導やアンケートのセットがあるので、なるべく多くの方に協力していただきたい。

【委員】多くの方が来てくれるように、声掛けをしていきたい。

・事務局より、バルーンリリースの代わりに本物の鳩を飛ばすことを提案。

【委員】他の自治体などで本物の鳩を放つことを実際にやっているところはあるのか。

【事務局】聞いたことはない。

【委員】子どもたちがいるのならば、バルーンリリースのほうがいいのではないか。

【委員】天気によければ公園にいる子どもも一緒にできたら楽しい。

→鳩型の風船を飛ばすことに決定。

### (3) その他

・事務局よりバス研修について説明。

【事務局】行先についてご提案いただきたい。バスの関係で、往復で100キロ以内の場所でご検討いただきたい。

【委員】マイクロバスが使えるなら、マイクロバスを使いたい。

【事務局】都心だと各自の方が早い場合もあるので、行先によって交通手段を選びたい。

【委員】生田の登戸研究所資料館に行ったことがある。このメンバーでいったことがなければ、候補のひとつとしてどうか。

【委員】登戸は個人ではなかなか行きにくい。学芸員が説明してくれる。

【委員】猿島は冬だと寒い。

【委員】多摩にも東大和や調布、府中など見たほうが良い箇所がたくさんある。府中の掩体壕は市が指定して保存している。八王子は月に1回浅川地下豪を見ることが出来る。

【委員】研修は、バス研修だけでなく、登戸研究所資料館の山田朗館長のお話を聞くのもいいのではないか。軍事的なことも歴史にも詳しい。こういう話を聞くのがいい。また、一橋大学の吉田裕氏も詳しいので、お話を聞くのがいいのではないか。

【委員】資料を見るだけでなく、そういった先生の話と組み合わせ聞ければよいものになると思う。

【事務局】次回、またご検討いただきたい。

・事務局より、非核協（＝日本非核都市宣言自治体協議会）の総会において、被爆体験者からの講話をいただけないか、と依頼を受けている件について、委員に協力を依頼。  
→正式なお願いは後日する。

・次回の委員会は、10月31日（火）午後6時15分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

### 3 閉会